

急性膵炎の前向き多施設研究に関する

患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター消化器内科では、「急性膵炎の前向き多施設観察研究」に参加することになりました。

この研究の目的は、急性膵炎の患者さんの治療結果を調べて、薬剤の種類や投与方法、栄養管理などの治療法がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究では、2017年9月より2021年12月末までに発症した方の、治療開始後5年間の診療録と検査結果の調査を行います。対象となるのは当院を受診し急性膵炎と診断された18歳以上の方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（検査結果や治療内容など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります慶應義塾大学医学部内科学（消化器）に電子的に送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については<http://www.keio-med.jp/gastro/pancreatitis-cohort/post-5.html>をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2026年5月

東京医療センター 消化器内科
研究責任者 福原 誠一郎
連絡先 03-3411-0111（代表）